

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

C. 教員の教育・研究指導能力の向上のための方策

①FD体制の整備充実

《人社系》

●信州大学教育学研究科

「授業研究アリーナで共創する「臨床の知」の事例

(具体的に何を実施したのか)

チーム指導體制の構築・運営には、学内教員の連携が必要不可欠である。このような観点から、アクション・リサーチ部会およびFD・フォーラム部会を中心として、学内FDの取り組みを進めてきた。

アクション・リサーチ部会において大学院GP連続学習会(全13回)を企画・運営した。また、FD・フォーラム部会の企画・運営による大学院GPフォーラム及び大学院GP国際フォーラム等を開催した。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

本GPを推進していくために、5つの部会およびそれを統括する大学院GP常任委員会を構成した。本事項に関しては、FD・フォーラム部会およびアクション・リサーチ部会が担当し、本GPの目的を共有したり、学内教員の連携を促進したりできるような企画を行った。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

アクション・リサーチ部会とは、本取り組みの中心的なコンセプトであるアクション・リサーチの方法論やそれにもとづく具体的な取り組みについて、学内において情報交換・意見交流し、議論を深めていくこと、そしてそのための機会を提供することを担う部会である。平成20~21年度にかけて、「大学院GP連続学習会」を企画し、全13回にわたり開催・運営してきた。その中では、学部教員が各専修における授業研究の実践や現職教員、大学院生との関わりについてレポートしたほか、授業研究アリーナの研究中間報告を行うなど、学内において授業研究、アクション・リサーチの方法論およびその具体的な取り組みについて発信した。授業研究の方法論について相互に学びを深めるだけでなく、それを切り口として、大学院教育をめぐる様々な課題について率直に意見交換を行う機会を提供するものであったと言える。

また、FD・フォーラム部会では、大学院GPフォーラムおよび国際フォーラムの企画・運営を行い、本取り組みを広く学内外に発信していくとともに、チーム指導體制の構築およびその円滑な運営を実現するためのFD活動を展開してきた。大

学院 GP フォーラムでは、①大学院教育課程の改善及び現職教員の指導体制充実に向けた視点の明確化、②授業研究アリーナ創出の意義・課題の共有化、③授業研究アリーナ、研修教員アリーナの実施状況の報告と成果・課題の明確化を目的として、3年間を通じて議論の蓄積と深まりを実現するものであったと考えられる。そして、本 GP での取り組みを国際的な視野から問い直し、さらなる発展を実現するため、「大学院 GP 国際フォーラム 2009」を開催した。加えて、平成 21 年度末には、大学院 GP での取り組みを今後の大学院における教育課程の改革にさらに結びつけていくことを目的として、本学教育課程委員会と合同で、「これからの養成教育と現職教育—教育学部・研究科組織のあり方の検討に向けて—」と題したフリートーキングの会を企画し、大学院 GP での成果をさらに発展させていくための道筋について議論を深めることができた。